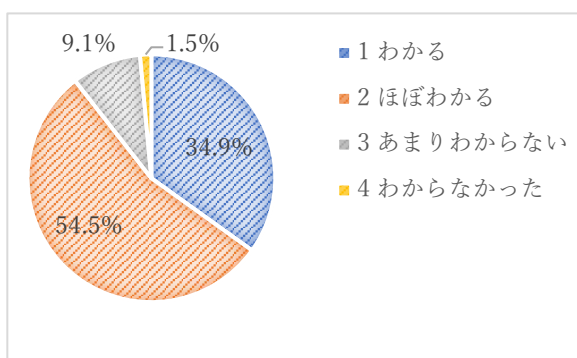


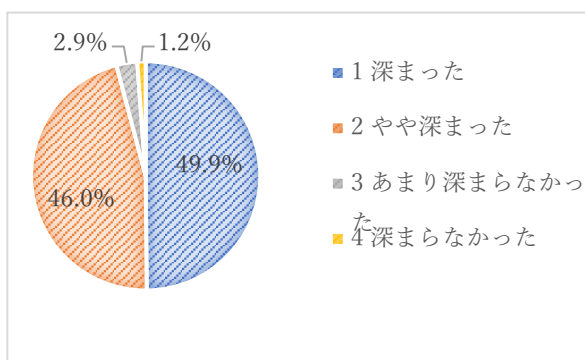
11月14日 visionary walker 育成事業講演会

1	日時	令和5年11月14日
2	場所・時間	静岡県立浜松南高等学校 第二体育館 15:15~16:05
3	対象者	第2学年
4	講師	石川 翔吾（静岡大学情報学部 教授）
5	研修の目標	メタバースについて知識を深め、その可能性について考える。
6	題名	メタバースの可能性と今後の社会環境の変化について
7	事後調査（講演後、アンケートを実施）	

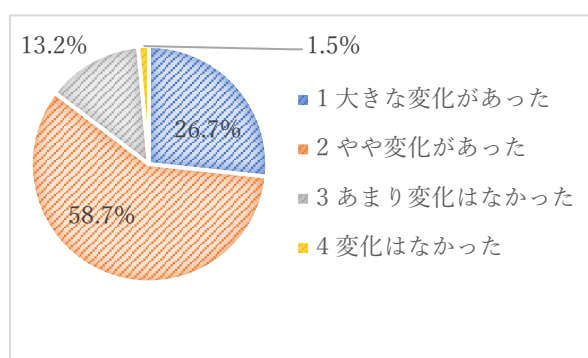
講演の内容の難易度について、どう感じました。



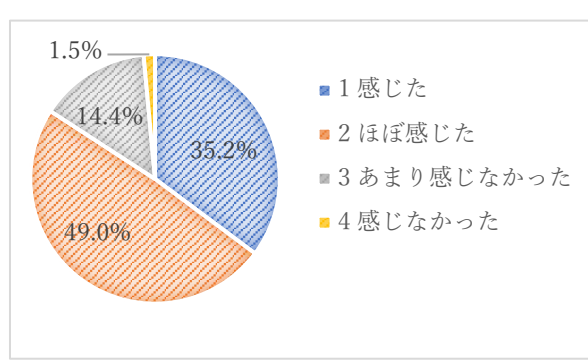
講演の内容は、メタバースに関して、理解を深めることにつながりましたか。



講演の内容により、メタバースの可能性と今後の社会環境の変化について意識に変化がありましたか。



講演は、何らかの形で、志を育てる糧になると感じましたか。



○生徒の記述意見（講演後アンケートより）

・「バーチャル空間は現実の模倣ではなく、むしろ本質のみを捉えた空間である。」という説明を受けバーチャルというものに対する認識が改まった。

・いま自分たちが生活している中にもどんどん進化して便利になっている部分があることがわかりました。その部分に焦点を当てながらも新たな問題についても理解して行きたいです。

・メタバースというものは今までは聞いたことがあるという程度によくわからないものだったが今回の講演を聞いて便利なもので色々な可能性を持っているものだという印象を受けた。

・メタバースやAIでストレスを発散したり、精神疾患の治療をすることができることを初めて知った。看護でも活かせることができることも知って驚いた。

・認知症の方の視点に立てる VR 体験がとても役立つと思った。相手の立場に立ってみると考え方が変わり、接し方もより相手に適したものになると思うから、他人の生活を手助けするような仕事をしている人はいい体験になると思った。メタバースや情報といった言葉を聞くと無機質で冷たいといったイメージを持っていたけれど、今回のお話を聞いて人の感情や行動と大きく結びついていることを知り、温かい側面もあることを知った。今までは情報という言葉だけで苦手意識を持ってしまっていたけど、私が興味を持っている福祉の分野とも関係があることを知って、少し興味を持つことができた。